

1月17日（金）休み時間に全校で避難訓練を行いました

1月17日（金）に、全校で3回目の避難訓練を行いました。事前に、30年前に起こった、阪神淡路大震災のことを教室で学習しました。その後に、休み時間に地震が起こった想定で訓練をしました。

地震は、いつ、どこで起こるか分かりません。自分で考えて安全な場所に避難するために、あわてず、さわがず、冷静に行動することの大切さを学びました。休み時間だったので、全員違う場所にいました。子どもたちは、自分で判断して行動し、静かに真剣に避難しました。しっかりと目的をもって訓練することができました。

自分の命と周りの人の命を守るために、防災学習も、行っています。また、神戸の復興の歌として30年歌い継がれてきた「しあわせ運べるように」の歌の話も聴きました。給食の時間にも、全校で聴き、命の大切さ、周りの人たちと普段からしっかりとつながり絆を深めることの大切さも考えました。



↑机の下に避難



↑運動場の中央で姿勢を低くして避難



↑安全な場所に避難



↑話を聴いています

『しあわせ運べるように』

作詞・作曲：白井真

1. 地震にも 負けない 強い心をもって
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた神戸を もとの姿にもどそう
支えあう心と 明日への 希望を胸に
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 神戸のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように
2. 地震にも 負けない 強い 絆をつくり
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた神戸を もとの姿にもどそう
やさしい春の光のような 未来を夢み
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 神戸のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように

阪神・淡路大震災から約2週間後に、当時神戸市中央区吾妻小学校に勤務されていた白井真先生が作詞・作曲しました。たくさんの被災地でも歌われ、東日本をはじめ、日本各地、世界に広がって歌い継がれています。